

従来のインフルエンザワクチンと違い、針を刺さないため痛くありませんが、鼻内にワクチンをスプレーするため、「注射も鼻スプレーもどっちも怖い」と感じるお子さんもいらっしゃると思います。

*鼻へ噴霧するインフルエンザワクチン（フルミスト）について

- ①2～18歳の方が対象です。
- ②左右それぞれの鼻へワクチンを噴霧します。
- ③生ワクチンですが、ほかのワクチンとの接種間隔をあける必要はありません。
- ④重度の喘息がある方は注意が必要です。
- ⑤ゼラチンでアナフィラキシーを起こしたことがある方は、従来の注射のワクチンをおすすめします。
- ⑥アレルギー性鼻炎や鼻かぜをひいていて鼻水がたくさん出ている場合は、延期するか、従来の注射のワクチンをおすすめします。
- ⑦以下の副反応が起こる可能性があります。
 - ・約6割の方に、鼻水、鼻づまりが出現します。
 - ・約1割の方に、咳、のどの痛み、発熱などの症状がみられます。
- ⑧約1年効果が持続し、従来のワクチンより効果が長く持続するといわれています。
- ⑨ステロイド剤を服用している方、妊娠中、授乳中の方は接種できません。